会報
日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）
新日本スポーツ連盟
三島野スポーツクラブ

No. 267
2022年12月1日
代表　岩井　富雄
射水市宝町1364-35
TEL・FAX 57-8180

戸隠連山　　小木　清　画

山行報告

◇ 10／28・29
大笠山
◇ 10／30
読図登山　大辻山
◇ 11／3
大渚山 ＆ 鎌池
◇ 11／13
春日山城址 ＆ 高田城

12月・1月企画案内

◆ 12／11　碁石ヶ峰
◆ 1／1　元旦登山　二上山
◆ 1／15　カンジキハイク　城ヶ平山

第25回定期総会の案内

2月5日（日）
古洞の森

12月・1月企画案内

12／11（日） 碁石ヶ峰

461m
氷見市／羽咋市／中能登町

【集合・出発】薬勝寺池 P　8 時 00 分
【コース】見晴らし台ハイキングコース
原山峠登山口　　嵐の丘休憩所　　碁石ヶ峰山頂
原山大池　　登山口
標高差 220m　　歩行時間 2 時間 30 分
L：塚　良昭
【参加申込】12 月 5 日まで
塚　良昭 SMS 080-8033-7427 へ
【装備】積雪があれば滑り止めを携行。防寒対策、温飲料、昼食、　（通常の装備）

1／1 元旦登山 二上山

恒例の企画。事前の参加申込・受付はしません。
希望者は**元旦の朝 5 時 30 分に城光寺球場前**に集合してください。また、どのルートから登っても自由ですが、**7 時に山頂**で合流しましょう。

1／15（日） カンジキ登山 城ヶ平山

上市町
446.5m

城ヶ平山山頂

三島野スポーツクラブでは 2021 年 11 月晩秋の城ヶ平山に登り、雪の剱岳の雄姿を望みました。今回は雪の登山道を登って、真っ白な雪山の頂に立ちましょう。

【集合・出発】薬勝寺池 P　7 時 00 分
【コース】大岩登山口　　城ヶ平山頂　（往復）
標高差　380m　歩行時間　登り 2 時間　下り 1 時間 30 分
体力度・技術度とも★☆☆☆☆
【装備】防寒対策（手袋、帽子、ウエアー、温飲料）
カンジキ、ストック
※　詳細案内は次号会報に掲載します

第25回定期総会の案内

2023年2月5日（日）10時～12時

古洞の森　大会議室　総会終了後、ランチ宴

前回の 24 回定期総会は、“コロナウイルス感染対策”のため、会員の親睦を深める交流会も省き事務的に行いました。

今回は 25 回という節目の総会であり、総会後は“酒宴”を無くして『ランチ』をともにしながら交流し、2023 年のめざす峰や思い出などを語りあいたいと思います。

すべての会員が顔を合わせる機会として、ひとりでも多くの会員が出席していただきたいと思います。予め日程の調整をお願いいたします。

第 22 回総会の懇親会

会員継続確認について

全会員が新年度 2023 年も継続して三島野スポーツクラブ会員として、一緒に活動していきたいと思いますが、**諸般の事情で「退会」を希望される会員は 12 月 25 日までに荒井英治まで（SMS 080-8695-6639）で連絡してください。**

日本三霊山展 紹介

上市町　西田美術館にて

〽越中で立山　加賀では白山　駿河の富士山三国一だよ～　とおわら節に歌われ、山岳信仰の盛んな三山。その写真と絵画を展示した美術館を訪れました。

新聞の記事でこの企画を見て、開催会場の上市町の西田美術館をネットで調べ、訪れてみました。白山、立山、富士山の素晴らしい写真と絵画に、その山の魅力を見ることができました。休憩室は前面ガラス張りで正面に剱岳を仰ぐことができ、無料のコーヒーもありました。また、古い山岳雑誌や珍しい深田久弥や、登山黎明期の小暮理太郎などの本もありました。

1月29日まで開催。５００円

（堀井　記）

山行報告　自主企画

10/28(金)･29(土)　大笠山　南砺市旧上平村/白川村（1822ｍ）

メンバー：（L）岩井富雄、塚　良昭、加藤日出子

【行程記録】

1 日目

薬勝寺池 P 出発 12:30→桂湖キャンプ場 14:00 テント泊

2 日目

登山口 6:00→前笈ヶ岳 9:00→天ノ又 9:40→

避難小屋 11:20→大笠山山頂 11:30（昼食）出発 12:20→

避難小屋 12:25→天ノ又 13:50→前笈ヶ岳 14:20→

登山口 17:10→薬勝寺池 P 着 18:45

ひとくち感想

岩　井：歩き出して直ぐに吊橋である。吊橋を渡るといきなり急な岸壁で、鉄ハシゴが 3 本見える。（実際は 5 本）それに鎖場もあり、見下ろすと、足元がスパットと切れ落ちている。登山道は整理されており、高度をグングン上げる。丸太作りの階段になり、1522m の笈ケ岳（天ノ又）と呼ばれる平に出る。本来ならこれから登る大笠山が見えるはずが曇っていて見えない。小ピークを 3 つほど登り返し、しばらく進むとマルタつくりで立派な避難小屋が現れる。大笠山山頂には一等三角点がある。展望がよい所だが今日はあまり眺望がよくない。体力的にきついが稜線まででれば眺望はよいので大笠山ならではのよさを感じた。紅葉は駐車場付近（標高約 600ｍ）見ごろだったが頂上付近は葉が落ちていた。

加　藤：テント泊での大笠山登山です。キャンプ場に着いてテント設営し、楽しい焚火でファイアー!!!!　BBQ で乾杯🍻幸せ感 Max ～～　翌朝、大笠山へ臨むも登山口から吊り橋、梯子、急登は前笈ケ岳迄続き、山頂間近はアップダウンが険しく試練の山だった(汗汗)

塚　：今年 6 月にブナクラ峠へ行った時に、馬場島でテン泊して以来、二回目のテント泊山行です。早めにキャンプ場に着き、登山口を確認に行く。吊り橋を渡る時目が眩む、その先が絶壁でほぼ垂直に鉄梯子が何本か掛かっている。息を飲むような光景に少しひるむが、慎重に登れば何とかなりそうだ。キャンプ場に戻り受付を済ませテントを張る。大きくはないが綺麗に整備されて、電源も備えたキャンプ場だ。久し振りのテント泊にテンションも上がり、美味しく食べ大いに飲み大変盛り上がりました。今日は私達以外に一組だけだが、次の日山行後に通りかかると昨今のキャンプブームを反映し、色とりどりの沢山のテントが立ち並んで、皆さん楽しんでおられビックリしました。

二日目桂橋のたもとに車を止め吊橋を渡り、断崖絶壁に掛かる五連の鉄梯子を登る。頑丈な梯子で不安はないが慎重に登り、次に鎖場を通り、その後は狭い岩尾根を慎重に進む。登山口の 572m から 650m まで一気に 80m

を登る。その後も急登が二時間半続きやがて前笈ヶ岳に到着する。休憩をとりピークを三つほど上り下りすると、以前に田中陽希さんも宿泊した避難小屋があり、間もなく大笠山頂上に到着する。頂上には一等三角点と立派な方位盤があり、360 度の展望が疲れを癒やしてくれた。南に笈ヶ岳、その後ろに白山が聳え周りには南砺の山々が連なり、誠に雄大な景色が広がる。長く厳しい道のりだったが本当に来て良かったと思いました。」

ヤマップデーター：行動時間 11:10、歩行距離 11km、累積標高差 1,643m、

山行報告 11／3（祝・木）大渚山、鎌池

薬勝寺池 P 出発 6:30→越中境 SA7:18→糸魚川 IC7:45→小谷温泉口 8:18→鎌池トイレ休憩 8:40 湯峠登山口 9:10→東峰 10:35～10:53→大渚山山頂 11:00～11:32→展望台→湯峠登山口 12:54→鎌池(昼食、散策)13:10～14:30→越中境 SA16:00→薬勝寺池 P 17:00

ひとくち感想

老　川：申し分のない秋晴れの登山となり、気分も高揚し最高でしたが、紅葉の方はだいぶ終わりがけで少し残念でした。落ち葉が濡れて滑りやすく危険で、神経をすり減らしながらの山行となりました。雨飾山などの山々が 360° いっぱいに見られ、よかったーっという感じでした。鎌池はとても神秘的な感じでマイナスイオンいっぱい浴びてきました。とてもいい 1 日となりました。

石　黒：快晴に恵まれ、青空のもと、紅葉に包まれて歩くすばらしい一日でした。大渚山を歩きながら雨飾山を眺めたり、鎌池の周りを散策したりしました。落ち葉を踏みしめながら歩く秋の山もすてきだなと思いました。計画を立ててくださったり長距離の運転をしてくださったりと、ありがとうございます。

**塚　**：快晴で雲一つない最高のコンディションの山行でした。山頂からは白馬・唐松・五竜・鹿島槍などの後立山連峰、槍ヶ岳・穂高連峰、高妻山・妙高・戸隠連峰などがスッキリと見え感激しました。鎌池も綺麗でした。

宮　本：湯峠近くになると格好良い大渚山が目に入りワクワクしました。ブナ林を気持ちよく登り頂上は 360 度のパノラマに感激。荒々しい岩肌の雨飾山の隣は金山だと教わり、ハクサンコザクラが美しく辛かった事を思い出しました。何度か登った朝日岳、白馬岳、五竜岳、鹿島槍、槍ヶ岳、もう登ることは出来ませんが見ているだけで幸せ。下山後、鎌池の紅葉に癒されました。皆さん有難う御座いました。

川　渕：今年の山行行事は、雨に断たれることが多くあったが、この日は朝から雲一つない晴天で、うってつけの登山日和でした。大渚山は地元の小学生や初心者にも安全で手軽な山と重宝されているとか。ところが登ってみて、昔々の青年にはそれが通用しない。難儀の連続でしたが、やっと頂上に着いた。更に奥にある展望台まで足を進め、この二階に立つと素晴らしい景色が待っていた。360 度ぐるりと見晴らせる大パノラマ。ヤッター景色最高‼この展望台の中心には方位盤があり、目前の名峰雨飾山から北アルプスの各主峰が一つ一つ山座同定する機会を得た。この後麓の鎌池を巡ったが、真っ盛りの紅葉が水面に映えてなんと美しい。森林浴しながらの歩きは実に爽快感がありました。この日、どの山に登った人も至福の一日だったことだろう。

松田光：下調べもきちんとせずに参加し、想定外の悪路に難儀した。山々の紅葉は終盤に近かったが、山頂での３６０度の眺望は見事だった。予想外の晴天に恵まれ大満足の山行であった。

山　本：前日より天気が良く、紅葉を見るには最高の登山日和となりました。紅葉は 1000m位までが真盛りで、大渚山は残念ながら 1566mなので終わっていました。大渚山山頂にある展望台からは 360 度眺望できました。東峰は眺望も良くのんびりできそうでした。帰りに鎌池で遅めの昼食を頂きました。食後池を一周散策し、美しい紅葉が見られ最高の登山日和でした。

浦　：文化の日、最高に素敵な日になりました。大渚山の頂上に向かう途中に眺めた谷の紅葉、美しい景色に見とれてしまいました。ぬかるんだ道に辟易して、帰り道の困難を思うと暗い気持ちになりました。ですが、雨飾山、頂上から見た山々がそれら全てを帳消しにする姿を見せてくれました。参加して本当によかったです。

門　口：雲ひとつない素晴らしい晴天のもとワクワクしながらの山行きでした。湿った落ち葉とぬかるみに恐る恐るの登り降りしたが、紅葉には少し遅かったとは言え展望台からの眺めは、360 度見渡せ圧巻でした。帰りにブナ林の露天風呂に入れず残念でしたがまた次の山行きが楽しみになりました。

林　：クラブ創設間もなく（多分 20 年くらい前）登ったのを思い出し、割と優しい山だと思っていたのが自分の体力の低下を忘れており、いざ登ってみると大変でした。また下りでは湿った斜面と落葉で何度か尻もちをつきました。チェーンスパイクを持ってこなかったのが悔やまれました。今後はどんな山でもチェーンスパイクを持っていこうと反省しました

松田理：最高のお天気に恵まれ、楽しい山行でした。はしゃぎすぎて、木の枝に頭を打ち付けたこと以外は。紅葉の森を歩き、自然の織り成す美しい景色に元気をもらいました。

有　澤：春に痛めた膝がようやく良くなり久しぶりの参加。準備を整え、まずそびえ立つ雨飾山を見学。そして「今日登る山はあれです！」と向かいの山を知らされ「エ～！！」（☆１つのはずなのに…）とビビりました。でも濡れた落ち葉に気を付けがら、なんとか登り、降りる事ができました。山を見上げながら（登って来たんだ！）と嬉しくなりました。頂上から見渡した山々、鎌池の周りの紅葉、最高でした。ありがとうございました。

大渚山＆鎌池　晩秋の山を楽しみました

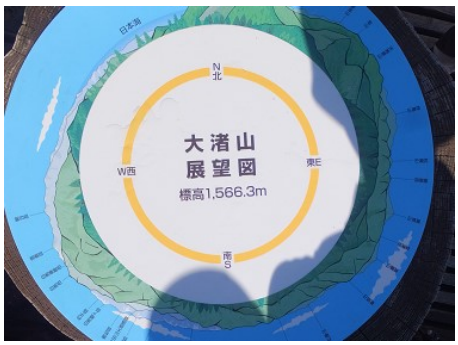
堀井泰則

こんな晴れわたった日に山に登るのは久しぶり。登山口に着き、2014 年以来 6 年ぶりに湯峠から雨飾山を仰いだ。ここから仰ぐ雨飾山は切り立った断崖がそそり立ち、雄々しく立派な山容を見せてくれるビューポイントです。

登山道から大渚山を仰ぐ

標高 1280mの登山口付近は紅葉の盛りは過ぎてブナの木は葉を落とし、その白い木肌が枯れた山を飾っていて初冬の趣。樹々が葉を落とした山は陽ざしが届き登山路は明るく、常緑の時期には味わえない雰囲気で歩くことができる。葉を落とした木々の枝を透かしてめざす大渚山の山頂が見え、ふと足を止めて仰いだ。前日は雨だったのか、ブナの落ち葉で覆われた登山道はぬかるみ、久しぶりに登る山道は思っていたより急な斜面の登下降の難路で、しかも 13 名という大パーティーは予定より時間をくってしまうのは仕方がないことだった。

ようやく三角点のある東峰に到着。いっきに視界が開け、見える山々の景観に感嘆の声が出る。「西峰の展望台でゆっくり展望を楽しもう」と促し、ぬかるんだ登山路を山頂標識と展望台のある西峰へ急いだ。その山頂につくられた避難小屋の屋上は展望台となっていてそこからの 360 度の大展望は見事だった。設置されている展望図で山座同定できた山は目前の雨飾山と金山･天狗原山その奥に妙高山。転ずれば、朝日岳・雪倉岳・白馬岳・唐松岳・五龍岳・鹿島槍ヶ岳・爺ヶ岳と北ア・後立山連峰の名峰が新雪を抱いて連なる。さらに戸隠山・高妻山など名だたる山々を見ることができた。



下山して鎌池で昼食としたが、4～5 人の男たちが売店の冬仕舞いの作業をしていた。今日の文化の日まで営業する予定だったが、明日（4 日）から雪が予想されるので早めたとのこと。

鎌池の紅葉もすでに終わりを迎え、“山粧う”景色が見られずちょっと残念でしたが、池畔の落葉した樹々に囲まれて黄葉するカエデに陽が射して映える姿に“山粧う”姿の名残りを見ることができました。

鎌池の風景

大渚山は★一つの“ルンルンで軽～く楽しめる山”として位置付けていました。が、なかなかどうして急登が連続し、ぬかるんでいたこともあってか、今の私には“ちょうどいい山”にワンランクアップしました。体力の低下は横に置いといて……。

この山にちょっと恥ずかしい、命拾いをした思い出があります。単独で登った時のことです。登山道の脇にブナの倒木があり、その木に一面きれいなキノコがなっていました。ナメクジがそれを食べていました。ナメクジが食べるのだから…と採ってきて、鎌池の売店で「このキノコ食べられますか？」と訊ねると「これ食べると大変なことになりますよ。ツキヨタケです！」と言われました。それ以来、山のキノコはすべて毒キノコだと思うことにしています。

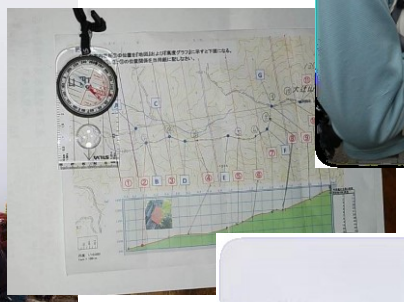
山行報告

ヤマレコ YAMAP をマスターするための 労山県連主催 読図交流登山 大辻山

10/30（日）

メンバー： 荒井英治、老川佳子、的場邦夫、堀井泰則

参加者全員集合



ひとくち感想

老　川：地図を見ながら、コンパスを動かしながら登山をするなんて、とても同時進行で無理って。とても難しいです。クリップボードぶら下げて登るのもちょっと辛くて。スマホがない時代にはコンパス動かしながら地図を見てみんな登ってたんですよね。少しコンパスの使い方が分かりましたが、まだまだ地図の見方が分からなくて、もっと勉強して楽しい登山をしたいですね。大辻山は残念ながら視界が良くなくて、紅葉もひとつで、ちょっと辛い山行でした。

的　場：富山労山から10人、富山ハイキングから5人、三島野クラブから4人（荒井、堀井、老川、的場）の19人で実施した。国少の駐車上でコンパスの使い方をレクチャーして方位を書き込み首から磁石と地図をぶら下げ登山開始。地形図とコンパスでクイズ形式で1番から11番の番号を探し、特定し標高を書き込むのと、A～H の標高を書いて頂上へ、頂上からは GPS を起動させ地図上の標高と場所が合っているか確認をする。GPS でもヤマレコとヤマップ、又、携帯の機種によって標高が2～3m位の差が出たのにはびっくりした。久しぶりに紙地図とコンパスを使つて見て思い出した。又、忘れないうちに使ってみます。

堀　井：自分にとって「山に登ること」に足が少し遠のいているために“学習より登山”のために参加した。案の定、一行の隊列から数分遅れてやっと山頂にたどり着いた。後日、軽い程度だったが足の筋肉痛をおこした（この程度の登山で）。読図学習は中途半端になってしまった。登山中に自分の現在地を知ることは安全登山のために大切であり、これからも機会あるごとに学んでいきたいと思っています。

荒　井：雲が掛かっていて、視界が悪くて称名滝や周囲の山々が見えなかったのが残念だった。しかし、読図講習についてはとても収穫があったと思う。読図には自分なりに自信があったつもりが、実際やってみると上手く出来なくてガッカリした。常日頃から、地図とコンパスを使っていないと本番で使えないことがわかった。この反省が一番の収穫だった。 これからは、登山だけでなく、サイクリングでも旅行でも地図とコンパスを持ち歩いて使いこなしていこうと思う。適切なテキスト資料で指導をしてくださった富山勤労者山岳会のスタッフに感謝。

山行報告　11/13（日）

春日山城＆高田城址

上越市
（旧直江津市）

メンバー；(L) 的場邦夫、(記録)塚　良昭、(写真)林　憲彦、堀井泰則、草　進、上田千秋、宮本久子
仲西雅子、甲　かほる、浦　幸江

【行程記録】
薬勝寺 P 出発 7:30→
上越 IC9:10→
埋蔵文化財センター着 9:20→
埋蔵文化センター出発 9:40→
南三の丸 10:25→
上杉景勝屋敷跡 10:50→
本丸 11:05→
天守閣跡 11:30→
毘沙門堂 11:40→
春日山神社 12:10→
埋蔵文化財センター帰着
13:00（昼食）出発 13:40→
高田城址公園着 14:00 散策→
出発 14:30→上越 IC14:45→
薬勝寺 P 着 16:40

上・景虎像前で武将姿の案内人
と「いざ出発」の記念写真
右・「切通し」を登る

ひとくち感想

的　場：初めての春日山城跡です。ガイドさんをお願いして春日山を案内していただきぐるりと予定をオーバーし 3 時間半かかり昼食の時間もずれ込んだが良かったです。もちろん高田城も見学しました。高田城はやはり桜の時期だと思いました。

**草　**：ガイドの案内で、戦いに明け暮れ，敵が遠くから攻め寄せてき、戦いに勝利する事など、じっくり、しっかり山城の重要性を理解し巡る事が出来、昔日に思いを馳せた春日山城跡。桜と蓮池の高田城も見るに値し、再度必ず訪れると雨降りしきる中、蓮池に誓い充実し十分満喫した歩きでした。

**甲　**：最高の秋晴れのなか、ガイドさんに案内してもらいながら春日山城を散策してきました。城はどこからも見渡せる場所にあり、すぐに攻められない工夫もいっぱいあり、感心させられました。紅葉も本当にきれいで、枯葉もヒラヒラと舞い秋も堪能。今日のような山行もいいですね。リーダーさんありがとうございます。話をたっぷり聞きながら 7.1km を 2 時間２１分で歩く。歩数１１,０００。

宮　本：石垣や天守閣もなく難攻不落の名城、春日山城。観光ガイドさんのお陰で戦国時代の戦いや生活、歴史を学びました。本丸からの眺望、紅葉も感激しました。上杉謙信が見ていた景色。ここで、ゆっくりコーヒー飲みたいです。

塚　：日本の五大山城のトップに数えられる春日山城は、歴史ロマンを感じさせられる広大で見応えのある山城でした。またガイドさんの懇切丁寧な説明も良かったです。

仲　西：前日までは快晴続きだったのに天気予報では曇りのち雨のことだったが、山城散策中は雨も降らず何よりだった。ガイドさんから熱のこもった説明をしてもらいながら回り見聞を深められた。春日山城跡からの眺めを見て上杉謙信もこの景色を見ていたのであろうと思うとい感慨深い気持ちになった。帰宅してから沢山いただいた資料をまた見返してみようと思います。久しぶりに参加させていただき大満足でした。

堀　井：晴れる日が続き、下り坂にかかろうとする天気を気にしながらの山行だったが、何とか持ちこたえてくれて本当にいい春日山城跡見学になりました。延々3時間半に及ぶ山城散策は大満足でした。大河ドラマで馴染みの上杉謙信、直江兼続などの名を聞きながら山城の特徴を学びました。また、天守のあった山頂から俯瞰する上越の市街地や米山、南葉山などの展望も素晴らしかった。春日山城ガイドをお願いしたり、準備に万全を尽くしてくれたりした的場Ｌに感謝です。「山城を訪ねる低山漫歩」をシリーズ化してもいいなと思いました。

上　田：春日山城巡りは地元愛上杉愛に溢れるガイドさんの案内に歴史を感じながら本丸迄ハイキング気分で楽しく登れました。本丸城址跡からの景色はこの季節ならではの見事な紅葉とともに遠く迄見渡せ素晴らしかったです。傘をさしてのウォーキングとなりましたが、高田城の堀の広さには驚きました。桜の季節に又訪れてみたいです。

林　：前日・前々日併せて３万５千歩を歩いた後遺症でなかなか足が前に進まない。励まされながら歩けて幸せです。春日山城跡は高速道路のトンネルに描かれているのでなんとなく存在を知っていましたがよく整備され地元の人に愛されている謙信公だと思いました。

浦　：小沼さんの熱い解説にたくさんの知識を注入しました。地形図を片手にどの辺を歩いているかを確かめながら、秋の日を楽しみました。途中に出会う紅葉の美しさに驚きました。期待以上の赤、黄にたくさん写真を撮っていました。春日山城はなんとか天気がもちましたが、高田城は雨の中の散策でした。桜やはすのころにまた訪れたいと思いました。美しい秋を満喫しました。

あなた 知っていますか

富山県で一番低い山

「富山県で一番低い山は」と聞かれると？？？知っていそうで案外知らないんだなア～。

それじゃ高い山は？と問われたら「立山！」。残念！大汝山です。立山という名の山はありません。雄山３００３ｍ、大汝山３０１５ｍ、富士の折立２９９９ｍの三山を合わせて立山と呼んでいます。

それでは一番低い山はどこにあるのでしょうか？正解は入善町の海岸で青木いうところに、ちいさな砂丘で松林や雑木林の山ですが、立派な一等三角点があります。山名は園家山（そのけやま）標高１７ｍ。全国で１７番目の低い山です。付近には設備の整った県のキャンプ場やバンガローがあり、また、入善海洋深層水パークや黒部川扇状地湧水公苑などがあります。一度訪ねてみてはいかがですか。　（山田　格）

山頂標識と一等三角点
（ネットから）

復活した伊藤新道の吊り橋と伊藤圭氏

日本勤労者山岳連盟

第 18 回全国登山研究集会開催

10月29、30の両日、都内で第18回登山研究集会が開催されました。コロナ禍で新しい生活様式に対応した登山、山小屋、登山道を軸に登山の環境整備を考え、遭難対策を含めて今後の活動に生かしていくことが目的です。

集会では、北アルプス最奥部の山小屋・三俣山荘までの最短ルート「伊藤新道」の復活プロジェクトに取り組む同山荘の支配人、伊藤圭氏が記念講演し、山小屋、登山道、岩場利用の諸問題などのテーマで討論を行いました。

また、「登山・登山文化を継承するために、核兵器の禁止・戦争のない平和を求めるアピール」への賛同も呼びかけました。

〔三島野スポーツクラブ世話人会〕

任務分担	氏　　名	住　　所	TEL	携帯
代　表	岩井　富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180	090-5177-9255
副代表	的場　邦夫	氷見市十二町 1037-36	74-6434	090-4320-5325
副代表	堀井　泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792	090-1314-6394
会計担当	荒井　英治	射水市上野 465		080-8695-6639

世話人会は上記の方々と、川渕順正、棚田清志、新田俊明、山本則夫、加藤日出子、塚　良昭、守田清子で構成します。　〔相談役〕山田　格、林　憲彦　〔監事〕草　進、上田千秋

12 月の世話人会開催は **12 月 6 日（火）と 12 月 20 日（火）の午後 2 時から、会場は「はなみずき」**です。どなたでも自由に参加できます。ぜひ顔をだしてください。

会報への寄稿や記録・感想などは編集担当の下記のアドレスに送ってください。

堀井泰則　horii.yasunori@rouge.plala.or.jp　　甲かほる　kab@p2.tcnet.ne.jp

松田理恵子　krbara@p2.tcnet.ne.jp

会報『三島野スポーツクラブ』をインターネットで見るためには、まず、「スポーツ連盟とやま」を検索し、次に富山県連盟、次の画面の「三島野スポーツクラブ」をクリックし、次の画面の「会報」をクリックすると見ることができます。

ホームページへのアクセスはhttp://sportstoyama.namaste.jp/kaihomokuji.html を入力して検索してください。また、スマホの場合は右のＱＲコードを利用してください。

全ページをカラー写真で見ることができます。

編集後記

・2022 年ももう年末。コロナ禍の生活もだいぶん慣れたと言えども、店舗に入るときや人が集まるところでのマスクの着用が必須なのは煩わしさが伴う。第七波が収まったかなと思う間もなく、すでに「第八波」の到来が報じられ、一方、外国人でにぎわう観光地がテレビ画面に映し出されている。“わたしゃ、どうすりゃいいの？”という声が聞こえてきそう。

・今回の会報は山行報告が誌面を賑わしています。がんばった大笠山。晩秋から初冬の山を楽しんだ大渚山。学習の大辻山。山城の魅力を知った春日山城跡。参加者の歓び、反省、これからの期待などが交々語られ、読む者を楽しくさせてくれます。